もみ殻堆肥バイムフード

| 材料 | | 使用量は一例です。 |
|---|--------------|-----------------------|
| Α | もみ殻(乾物) | 1000 kg |
| В | 乾燥鶏糞 米ぬか | 120 ~ 200 kg 30 kg |
| 他 | 尿素 バイムフード | 6 ~ 10 kg 2 kg |
| ※尿素を使用しない場合は、乾燥鶏糞を 200kg 程度 入れてください。 | | |



1. 材料を用意します。



2. 水分含量は60~70%に調節します。 (水分含量の目安は握りしめて水分がにじむ程度です。)



3. 尿素を適量の水に溶かし、もみ殻全体に散布します。 (尿素水はもみ殻への浸透性が高いとされています。尿素を使用しない場合、しっかり2回水打ち、あるいは仕込み後温度が下がってきた段階で水の追加を行います。)



4. もみ殻の上に乾燥鶏糞、米ぬか、バイムフードを広げます。



5. 材料が均一に混ざるようにホイルローダーなどで混合します。

その後発酵を促すため堆肥舎に積み込みます。

もみ殻堆肥バイムフード



6. 好気性発酵を促すため、定期的な切り返しを行います。 (水分が不足しているようなら散水します。) 切り返しのタイミングは以下の表を参考に行ってください。

堆積期間、切り返し

仕込み開始 全材料を混合/堆積

7日目 1回目切り返し

14~15日目 2回目切り返し

21~25日目 3回目切り返し

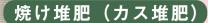
1~2ヶ月放置

仕込みから3ヶ月後 使用可能





7. 仕込みから3ヶ月以上発酵を継続して完成です。 臭気もほとんどなく、光沢のある茶褐色(アメ色)になれば使用可能です!







水分が不足すると温度が70 度以上まで上がり、焼け堆肥(カス堆肥)になります。 微生物相が単一化、有用な養分も分解・飛散し土壌改

良効果も低くなります。

NG